

伝え合う楽しさを育む

市では、英語での実践的コミュニケーション能力の基礎を養うことを目的に、文部科学省から「教育課程特例校」の認定を受け、小学1年生から市独自の指導計画で英語教育を行っています。



好きな動物になって英語でゲーム(遠山小・2年)



先生に英語で質問(公津の杜中・3年)



日本と違う風習を写真で紹介(公津の杜中・1年)



ゲームを通して会話の練習(遠山小・6年)

小1からA・L・Tと授業

市では、全ての市立小中学校に外国人英語講師(A・L・T)を配置し、小学1年生から英語科の授業を行っています。A・L・Tは学級担任や英語担当教員と協力しながら授業を進めます。A・L・Tが授業にすることで、英語の音やリズムに慣れることができます。また、自らの思いを英語で伝えられる機会も多く得ることができます。

小学校では、歌やゲームを交えたさまざまな活動を通して楽しく英語を学んだり、異文化に親しんだりしています。また、中学校では、標準授業時間を拡大し、教科書を使う授業に加え、聞く・話すなどのコミュニケーション能力を養うための授業を行っています。

20歳の皆さんにアンケート実施

これまでの英語教育の成果を計るため、ことしの成人式会場で市内で小学1年生から英語教育を受けた20歳の皆さんに、アンケートを行いました。

「A・L・Tが英語の授業にいてよ

かったか」の質問には94パーセントの人が良かったと回答し「英語に慣れて、外国人との会話に緊張しなくなった」「簡単な日常会話はできる」「外国人に道を尋ねられて答えられた」など、英語を話すことに前向きな意見が多く出ました。また、もっと英語を使いたくて空港内で仕事をしている人や、授業がきっかけでさまざまな国に興味や関心を持ち、大学で知識を深めているという人もいました。

国際社会で活躍する人材を育成

本市は多くの外国人が訪れ、住むまちなりました。平成32年には東京五輪・パラリンピックの開催が決まり、さらにたくさんの方の外国人選手や観光客が訪れることが予想されます。市では、今後も英語教育の充実に取り組み、子どもたちの英語で思いを伝え合う実践的なコミュニケーション能力を育み、さまざまな文化や価値観を受け入れて国際社会で活躍できる人材の育成を目指していきます。

※くわしくは教育指導課(☎20・1582)へ。